

## 今月のトピック

### ◆「コレゴヌス」とはなんでござる？

7月10日、只見総合開発センターにおいて、コレゴヌスの理解とPRを図るため、コレゴヌス料理の試食会が県及び町内関係者を集め開催されました。

コレゴヌスはサケの仲間で、東欧からシベリアの湖沼に生息、魚体は銀白色で冷水を好み、プランクトンを主食としています。ヨーロッパではポピュラーな魚で、古くから鮮魚・燻製等で利用されているそうです。

試食会には、刺身・塩焼き・唐揚げ・煮魚・あんかけの5品が準備され、参加者の評価も「歯ごたえがありおいしい」と良好でした。

また只見町では、今年度より県内水面水産試験場の委託事業である「コレゴヌス養殖技術普及事業」に取り組んでおり、現在飼養拡大に努めている会津地鶏とともに只見町の特産品としての定着化を目指しています。

### ◆森林と水の学習会を開催

7月10日に下郷町音金地内の番屋川、7月13日に只見町楢戸地内の楢戸川において南会津農林事務所と南会津地方林業協会との共催で「森林と水の学習会」を開催しました。

これは、子供達に森林と水との関係を楽しみながら学んでもらうことを目的として行ったもので、下郷町では南小学校の全校生が、只見町では朝日小学校の1年生から3年生までが参加しました。



イワナ放流 大きくなってまた合おうね

当日は、南会津農林事務所森林林業部職員により「森林と水の話」、「森の働きの実験」、「森のクイズ」などを行い、南会津東部非出資漁業組合等からイワナについての説明の後、子供達により、下郷町で2500匹、只見町で3000匹のイワナの稚魚を放流しました。

### ◆そばフラワーフェスティバルが開催されます

8月30日(日)、下郷町養鱒公園いこいの広場において、そばフラワーフェスティバルが開催されます。日本一のそば畑の見学、麦わら帽子飛ばし大会、じゃがいも掘り体験などを行います。また、そばは食べ放題です。参加料金は大人1,000円、小人(小学生以下)500円。当日9時より受付を開始し、先着200名様を対象です。広大なそばのお花畑だけでも一見の価値はあります。ぜひお越し下さい。



田島ダムサマーフェスティバル  
(パネル展示の他にうちわと風船も配りました)

### ◆田島ダムサマーフェスティバル'98

7月26日、田島町高野の田島ダム建設地で田島ダムサマーフェスティバル'98が行われました。

森と湖のある風景画コンクールの表彰式、ウォークラリー、魚つかみ取り等のイベントのほか、南会津農林事務所からは、農村整備部より農業集落排水事業のパネル展示、森林林業部より森林についてのPRパネル展示と木工手作りおもちゃコ

ナーで参加しました。

田島ダムは、平成5年度に着工し今年度で完成しますが、今回がダムの湖底部分が見られる最後

のイベントということもあり多数の参加者がありました。

### ◆会津方部花き品評会、南会津の入賞者は

7月17日から、会津若松卸売団地内アピオスペースにおいて、会津地方園芸振興協議会が主催する第23回会津方部花き品評会が行われました。

会津方部の花き生産農家からトルコギキョウ、ハイブリッドスターチス、ハイブリッドカラー、カスミソウ、リンドウなど21品種、約100点の出品があり各地域農業改良普及センター所長、福島花き研究会代表、JA福島経済連会津出張所所長など関係機関・団体の代表者が審査員となり、花色、茎葉等のバランス、病害虫の有無等について審査が行われました。南会津郡内の入賞者は右表のとおりです。(敬称略)

褒 賞 名	町村名	氏 名	品 名
福島県経済農業協同組合連合会会長賞	田島町	平野 亘市	宿根カスミソウ
福島民友新聞社社長賞	田島町	室井 豊一	HBスターチ
株式会社テレビユー福島社長賞	伊南村	馬場 信作	りんどう
㈱南関東花き園芸卸売市場社長賞	下郷町	小山 力丸	アルストロメリア
株式会社葛西花き社長賞	田島町	猪俣 裕子	HBスターチス
会津地方園芸振興協議会会長賞	下郷町	小山 力丸	りんどう

### ◆南郷トマト産地見学交流会

県青年農業者育成センターでは、会津みなみ農業協同組合及び南郷トマト生産組合と共催で「南郷トマト産地見学交流会」を実施します。

これは、将来、新規に就農を考えている方に実際に農家に宿泊し農家の方々と交流を深めてもらうことにより、地域の農業への理解を深め、就農に際してのきっかけとしてもらうことを目的とし

て行います。併せて地元にあつては担い手の育成確保を図るなどの目的もあります。

10月3日から4日まで、県内外の新規就農を希望する50歳未満の方を対象に南郷トマト生産農家に民泊し、農業体験などを行います。

問い合わせ：福島県青年農業者育成センター  
TEL 024-521-5540

### ~~~~~ この人を知りたい ~~~~~

渡部 善一さん (下郷町澳田)

「地区のハタケシメジ栽培者を増やし、ハタケシメジを新たな特産品としたい」と話してくれるのは、ナメコ・マイタケ等のキノコ栽培を主体に水稻と野菜の林業複合経営に取り組んでいる下郷町の渡部善一さんです。

渡部さんの経営のモットーは「限られた森林と労働力を最大限に生かし、高収益を得ること。キノコ栽培に関しては広葉樹林等自然環境を活用した高付加価値追求と高品質生産安定供給による市場の信頼獲得維持」と話してくれました。

キノコの販売は観光拠点・施設を利用しての直売と会津旭出荷組合を通じての市場出荷。会津旭出荷組合は渡部さんたちが中心になり15年位前に設立した組合で現在組合員数は39名です。

ハタケシメジの栽培は、平成7年より他栽培者に先駆け取り組んでいる。2年目からは目標とする数量を確保し、栽培技術に自信を深め地域の特産品化に意欲を燃やしています。



善一さんと奥様の和子さん

「自分は出荷組合や森林組合などの仕事があるし、キノコ栽培の中心は自分でも、製品管理や選別は妻が主に担当、質を落とすことなく出荷できるのはこの管理があつてこそ。市場や観光施設等の販売先からの信頼は妻に負うところが多い」といいます。

過去5年間には植林1ヘクタールを行い、下刈りや除伐等森林施業にも積極的に取り組んでいます。奥さんの和子さんとの二人三脚で、今後ともより良い経営を続けたいと意欲的です。

## ひとりごと ～新人紹介コーナー～

私が新採で田島にお世話になることになってから、早4ヶ月が過ぎました。

3月31日に「田島」の辞令をいただいたときは、不明にしてその名も知らず、5日後に赴任の挨拶に行くようにいわれて、地図を片手に電車で揺られ、5時間かけて山形から来たことを昨日のように思います。

しかしそれからは本当にアツという間の4ヶ月でありました。「田島は3年」といろいろな方から言われますが(1年で見捨てられたらどうしよう!)、大学の4年間であればアツケナクッタことを思えば、まさに光陰何とやらとなるのかもしれない。

さて、(私が守っているかどうかは自身がありませんが)常に私が強い印象を受けている言葉に、

「宜しく妄りに自ら菲薄し喩を引きて義を失い以て忠諫の道を塞ぐべからざるなり」というのがあります。「どうせ自分は～だから」などと言って度を超えて自らを卑下したり、いろいろ理屈を言ったりして、誰も親切に忠告してくれる人がいなくなるなんていうことはしなさんなよ、というほどの意味ですが、この「度を超えて」つまり「妄りに」の範囲がナカナカ難しい…。いつも失敗ばかりですが、この辺りの機微が分かるようになって事が一丁前になるって事なのかしらん?

とにかく毎日一生懸命がんばってまいりますのでどうぞ宜しくお願いします。

企画部 栗野 敬 (社会人1年生)

## 特集！会津地鶏を会津の特産品に

### 会津地鶏を知っていますか

会津地鶏はもともと平家の落人が愛玩用に持ち込んだものが広まったと言われています。大変美しい羽根を持っているため観賞用として飼われており、また黒く長い尾羽根は会津彼岸獅子の獅子頭に使用されてきました。会津地方は鶏の飼育がさほど盛んでなかったため、他の鶏との交雑が行われず純粋種が維持されてきたと考えられています。

しかしながら体が小さく、産卵数も年間60～80個と少なかったため、飼育する人も少なくなり絶滅寸前であったところを県の養鶏試験場が発見維持・増殖しました。

県で普及している会津地鶏は、県養鶏試験場で改良されたもので、純粋種よりも大型で肉質も良く、産卵能力も年間200個程度と向上しています。

### 会津地鶏の振興に向けて

県では、平成8年3月に畜産課が事務局となり「福島県地鶏振興協議会」を設立し、県産の地鶏の振興を図るための検討を行っています。また平成9年5月には南会津農林事務所が事務局となり「会津地鶏定着化推進協議会」を設立し、会津地鶏が地域特産品として定着化することを目的に活動しています。

現在、南会津地方では下郷町と只見町で会津地



会津地鶏の夫婦（純粋種です）

鶏を飼育しています。両町とも会津地鶏の特産品化に向けて各種イベントでの活用や販売先の確保などに取り組んでいます。

### 会津地鶏を食べてみませんか

肉は平飼いで飼われているため適度に歯ごたえがあり、脂がのっているためコクとうま味に優れています。また、鶏特有の臭みが少ないなどの特徴を持ち、焼き肉や鍋物などどんな料理にも合いますが、特に、焼き鳥や南会津特産のそばと組み合わせた地鶏そばは鶏本来の味が生きて絶品です。

卵は、他の卵用鶏と比較するとやや小ぶりですが、卵黄が大きく色鮮やかで温かいご飯にぴったりです。

会津地鶏が食べられる店は、甌島(会津若松市)、そば処大川(下郷町豊成)、下郷町物産館(下郷町

弥五島)、こめや、みなとや(下郷町大内)、湯ら  
里(只見町長浜)です。是非一度ご賞味下さい。

### 会津地鶏を飼ってみませんか

初生雛(生まれたばかりのヒヨコ)から飼う場  
合には、3週齢ごろまで保温が必要です。また、  
多くの羽数を飼う場合には尻つき防止のため、  
デビーク(くちばしの先を少し切ること)を行いま  
す。保温期間以後は平飼い(放し飼い)としま  
す。えさについてはプロイラー用を使用していま  
す。

出荷時期は、雄は成長が早いので約100日齢、  
雌は約120日齢となります。プロイラーと比較  
すると約2倍の期間を必要としますが、じっくり

育てることにより会津地鶏のおいしさが作られま  
す。

また、会津地鶏は強健で病気に強く、育成率も  
雄97%以上、雌99%以上とたいへん飼いやす  
い鶏ですので高齢者の方々にも活用できると考え  
ています。

### 終わりに

会津地鶏は、皆様にはまだなじみが少ないと思  
いますが、会津地方にはゆかりのあるすばらしい  
鶏ですので、是非この機会に会津地鶏に興味を持  
ってもらえれば幸いです。

## 窓

### 趣味その1「盆栽」

人生でのいろいろな出会いのある中で、趣味との出会いも実に楽しい。

盆栽が縁で昭和47年福島市の西部、吾妻山の麓に農家を購入。「本妻をかわいがらない人には盆栽を教えてやらない」などと、故阿部倉吉先生(皇居の盆栽を3年も手入れされた人)に言われながら、趣味としての盆栽道も早30年近くにもなる。

盆栽講習での、整姿・整形、盆友との語らい、庭にある約200鉢(ほとんどが吾妻五葉松)の手入れ、畑(実生からの松)の消毒、芽つみ、植替と、「週末に何をしようか」など考えたこともない。

「空間有美」の教えを受け、自然に学び、環境に合わせ、人との和を大切に、生ある芸術として「盆栽」を楽しんでおります。

……あなたも是非、お始め下さい。

(南会津農林事務所 所長 横田)

## 3ヶ月予報

仙台管区気象台発表の「東北地方3ヶ月予報」

8月 曇りや雨の日が多く、平均気温は低い見込み。

2週目は、オホーツク海高気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温は低い見込み。

3~4週目は、オホーツク海高気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温は低い見込み。

9月 天気は周期的に変わるでしょう。

気温は高いでしょう。降水量は平年並でしょう。

10月 天気は平年と同様に晴れる日が多いでしょう。気温、降水量共に平年並でしょう。

みなさんのご意見ご感想をお寄せください。  
郵便・FAXどちらでも結構です。

あて先

〒967-0004

南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所企画部 地域農林企画室

TEL 0241-62-5866

FAX 0241-62-5349

この広報誌は再生紙を使用しております。